

# タイピックだより

4月号

2016.3.20 発行

Vol.40



四月になり学校では新年度が始まる季節となりました。黄色のカバ

や進級して、やる気をみなぎらせている子ども達の姿を見ていると、懐かしさとともに、子どもの頃の夢や入社当初の決意を思い出し、マ

次第で成果や疲労度に大きく違いが出ます。周囲が新生活に心躍らせているこの時期には、いつの間にかくすぶらせてしまった心に新しい風を送って、再び情熱の火を燃やし、充実した毎日を過ごしましょう。

新しい学校へ、にこにこワクワクと楽しそうに通っている新一年生

未来ある子どもたちや大事な家族を守るのも私たちです。

いつももの慣れた道でも気を緩めた一瞬が大きな事故に繋がります。また、相手が止まってくれるだろう、気をつけてくれるだろうという運転になつてはい

ません。自分ルールを守っている」と譲らない傲慢な心で運転してはいませんか。

家族や職場でも、譲り合いの心が交通安全につながることを、話し合ってみる

のも良いですね。

今年恒例『経営とオフィスの祭典』

今年はなんと2日間開催！  
4/27・28  
(水) (木)  
無料ご招待

人手不足時代に増収・増益の鍵を握るのは、この4講座！

第一講座：時流と経営  
27日 13:30～14:30  
『2016年以降の時流と経営のあり方』  
株式会社船井総合研究所 鬼澤直樹氏

第二講座：人材採用3.0  
27日 15:30～18:30  
『人手不足時代の人材採用戦略！Webを活用して集客力10倍の事例とノウハウ』  
株式会社船井総合研究所 金澤一馬氏

第三講座：情報セキュリティ  
28日 10:00～11:30  
『インターネットの脅威から自社の情報を守る！地方の中小企業の被害事例と対策』  
株式会社船井総合研究所 金澤一馬氏

第四講座：女性活用経営  
28日 13:00～14:30  
『女性の活躍がこれからのポイント！女性を雇用して業績を上げるポイントを公開』  
株式会社Woman's 代表取締役 富崎結花氏

今年2日間開催！どちらもお参加ください！  
2016年 4月27日(水) 13:00～17:00 4月28日(木) 10:30～17:00  
会場 グラントウ 益田市有明町5番15号  
主催：株式会社タイピック TEL:0856-23-2800 FAX:0856-22-5592

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社タイピック

〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号  
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番  
http://www.typic.jp



# 社長の つぶやき



私は、現在書き写しをしているものがある。

一つは、一昨年の誕生日(十一月二十九日)から 安岡正篤『一日一言』をはがきに三年間(一九九五日)書き写すことを決め、毎朝四時頃に起きて今までに四七五枚書き写している。どういう意味だろうと解らないこともあるが、三年間のうちには自分の潜在意識に落とし込もうと思っている。

安岡正篤『一日一言』の一月二七日には 學問は人間を変える。人間を変えるような学問でなければ学問ではない。その人間とは他人のことではなくて自分のことである。他人を変えようと思つたらならば、先ず自分を変えることである。十月十二日には 事業というのは、要するに人である。したがって本当の事業は、事業でなくて 德行」なのだ。会社の幹部になつて事業を経営する人の人格、その気分、思想などが自然に集まつて一つの社風というものをつくる」とあり、社長として徳を磨き良き社風づくりをしていかななくてはならない。

二つ目は今年の正月に始めた、致知出版社から毎日送られてくる『一日一言』のメールである。今日のメールには 吾難に対しては真正面から立ち向かい、さらに精進を積む。また成功に対しては謙虚にして驕らず、さらに真摯に努力を重ねる。日々たゆまぬ研鑽に励むことによつてのみ、人間は大きく成長していく。稲盛和夫 京セラ名誉会長」とあった。

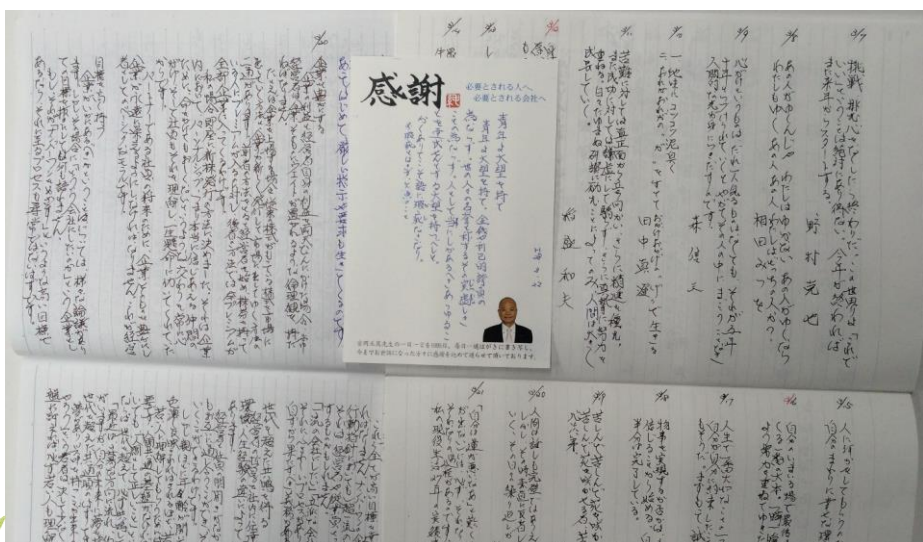
三つ目は、稲盛和夫さんの講話を数度お聞きしたことがあり、このなかで心を高める、経営を伸ばす。心を高めるのが先、経営を伸ばすのは後、心を高めない限り、経営も人生も発展しない」と言つておられた。

そこで、稲盛和夫さんの書かれた 心を高める、経営を伸ばす(PHP発行)の本を十三回読んで、昨年七月三十日から今日まで、思いついた時に大学ノートに四十五ページほど書き写しているが、まだ終えることができていない。早いうちにこれを終え、次は船井幸雄さんの『ベーシック経営』を読み込んで、主要な部分を書き写し経営の教科書として活用しようと思つている。

なぜ書き写しをするのかといえは、短い文章を覚えてから書く。このことによつて記憶に残りやすい。そして本の字をまねて書けば字の練習にもなると思

うからである。いわば脳の体操、精神運動なのだ。致知出版社の藤尾社長は書き写しをすると魂が入ると言つておられた。

入生いつもこれから」しっかり学んでいくぞ!!



## 社内木鶏会

### 致知の感想



かくて世紀の偉業はなしとげられた

三浦 恵美子

話の内容は、私からは想像もできない難しいレベルの研究だなあと思ったが、片岡さんは、そんな私たちにもとても分かりやすく話をされ、とても興味深く読むことができた。一つの好奇心からここまで研究を突き進め、それが実現しようとしている片岡さんの最後まで諦めない努力はすごいと思つた。それから、頭の強い人間になりなさい」と言われていたが、これもなるほどなと思つた。頭の弱い人間は、できなかったことや失敗したことを正論化して、なぜできなかったかということ語り続けると言われていた。できなかつたり失敗したことには必ず理由があり、なぜそうなつたかと自分自身で問い詰めることが大切だと言われていた。たしかに、何か失敗した時、自分を守るために、なぜ失敗したかという理由を、まず話してしまう自分がいるなと思つた。言い訳をしたところで、自分がやつてしまったことを取り消すことはできないのだから、まずはその失敗を根本から考え直し、次に生かせるようにしなければいけないのだと思つた。常にいろんなことにアンテナを張り、好奇心から 考える頭』を身に付けたいなと思わせる内容の記事だった。

## 5カ年事業計画を立ててみる

株式会社船井総合研究所 兎澤

みなさん、こんにちは。



株式会社 船井総合研究所の兎澤と申します。

今回で21回目の掲載になります。

いつもありがとうございます。

船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしている経営コンサルティング会社です。

前回は、自分たちの都合を見ているか、お客を見ているか?」についてお伝えしました。細かく自分たちの仕事を見てみると、自分たちの都合をお客様に押し付けてしまっていることというのはよくあるものです。小さな言動ひとつひとつが、お客様を考えて最適なものになっているか、改めて見直してみる必要が大切ですね。

さて今回は、『5カ年事業計画を立ててみる』についてお伝えしたいと思えます。先日、私のクライアント様で、5カ年事業計画を策定するお手伝いをしました。正直に申し上げてしまうと、5年後に社会がどうなっているかなどわかりません。なぜなら、今はインターネットやスマートフォンなど、新しい技術の

進歩が著しい世の中になっているからです。5年後はおるか、3年後すらわかりません。それでも、結局、この社長は5年後に5倍」というビジョンを立てました。では、なぜそれでも5カ年事業計画を立てる意味があるのか?それは、過去の延長線ではなく、未来の高いビジョンから見るとなるため、思考の枠が逆算して、どう何をすべきかが見えてくるのです。もし過去の延長線上で考えると、日本は市場が縮小していますから、同じことをしていても売上収益はおそらく減少するでしょう。ところが、5年後に5倍」となると、思考の枠が壊れるのです。『5年後に5倍』と決めた瞬間に、過去の延長線上(これまでやってきたこと)にはない、まったく異なる次元で、取り組むべきことが見えてくるようになるのです。当然、やるべきことも増えます。でも、だからこそ、どうかがより濃密になるのです。みなさんも、まずはどうするかまいせんので、改めて本当はどんな会社を目指したいのか?」ということを、5年先を見据えて考えてみてはいかがでしょうか?それを実現できない理由など、自分の思い込みの中しかないのですから。

## 誕生日の決意

ゆつりやさしいパソコン教室

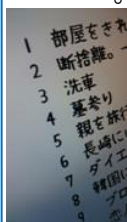
廿日市教室 今直美



4月にまた年を一つ重ねることになる。学生時代は、誕生日を迎えることに年齢を意識していたが、社会人になり、あまり意識してない事に気づいた。

先日、誕生日を迎えるある方から、「100個の夢を書き出して、一年間の目標にする。」という話を聞いた。その夢は、簡単に叶うことから、努力を要するものまであり、私も考えてみた。10個くらいは簡単にできたが、改めて考えるとなかなか難しいものだった。自分のやりたいこと、好きなことって何だろうと改めて考えさせられた。小さなことまで書き出すと、やらなければいけない事の多さにも気づかされ、毎日を意識しながら大切に過ごせることが出来るのかなと思った。改めて自分と向き合い、来年の誕生日にはどれだけ自分が成長できているだろうか。

誕生日まであと少しあるので、100個の夢を書き出して、日々出来ることを積み重ねて成長ある一年にしていきたい。



ゆつりやさしいパソコン教室

益田教室 清水壮一

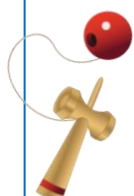


昨年50歳になり、還暦までの一年一年をどう過ごすか考えるようになった。

私は、パソコン教室の生徒さんと毎日、色々な話を聞かせてもらっている中で、人生というものを意識する機会が多くなる。80歳を過ぎてからパソコンを始められる方もおられるのを見て、「人生はまだこれから」と明るい展望を見させていただいている。

最近、妻と60歳を過ぎたら何をするかと話す機会があり、それがきっかけで、とりあえず自分の目標として、けん玉検定で段を取るという目標を立てた。年を取り、弱くなっていく自分を引っ張っていく牽引役として選んだのだが、これも生徒さんから教えられた人生の生き方のコツかもしれない。何でもいいから何か一つ目標を立てることによって、他のことも頑張っていけると思ったからだ。

これからパソコン教室の生徒さんと一緒に人生を楽しんでいきたいと思っている。





# ゆっくりやさしいパソコン教室



われら目指すはプロの道

ゆっくりやさしいパソコン教室では、「プリザーブドフラワー」「健康体操」「うちわ作成」「タブレット講座」など沢山の特別講座を開催しています。その中でも人気の「デジカメ講座」。講座を受けるとみるみる上達し、教室内の写真コンテストで入賞という方も多いです。

何かが変わるデジカメ講座。デジカメ講座は、益田教室、浜田教室、萩教室、廿日市教室でも毎月開催しています。皆さんも一度受講してみませんか？

## 花開くデジカメの道

### インストラクター

田中頼昭

「花の前に、水面をバックにして写すかなー」「こっちのアングルが光の加減がええと思うよ」毎度のことながら、撮影風景では、皆さんの声のトーンも一段と賑やかだ。デジカメ講座が発売して3年、この春には1年のまとめとして一人1冊、ハードカバーの写真集を完成した。

写真はただ撮影して、その出来栄を見比べるのが目的ではない。身の回りの事象、人の姿と営み、すべてを見つめて直して新たな発見をすることが目的である。いわば写真撮影を通して自らの生き方を探る行為だと言える。

難しい理屈など関係なく、教室の皆さんは底抜けに明るく賑やかだ。明るい人がカメラの道を目指すのか、カメラに親しむから明るくなったのか、声だけ聞くと18歳の少女少女の集団と間違われるほどだ。楽しむうちに着実

に力量もつけて日々プロへの階段を登りつつある。デジカメ仲間万歳！



宮島ほっこり再発見（広島）



妙齢の花今咲き誇る



水仙海岸冬の旅（益田）



青春真っ只中（萩）

パソコンがご縁で仲良くなった仲間とパソコン以外の楽しみを共有することもあり、「教室に行けば何かある!」と思って頂ける楽しいイベントをこれからも私たちスタッフ一同で企画し、皆さんと一緒にますます楽しい教室にしていきたいです。

パソコン教室に行けば、日常生活ではできない体験をすることができ、これからの人生の楽しみが増えること間違いありません。

ぜひ一度教室に足を運んでみてください。皆様のご入会をお待ちしております。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします